

令和 8 年度

「運営に関する計画」（案）



大阪市立放出小学校

令和 8 年 4 月

大阪市立放出小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標 (概ね4年以内でめざす目標)

現状と課題

- いじめ事案については、年間3回のいじめアンケートの実施、「いじめについて考える日」の設定等の取組の中、早期発見・早期解決・未然防止の取組を進めてきた。しかし令和7年度小学校学力経年調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について「思う」と回答をしている児童は80.9%にとどまっている。
 - 令和7年度小学校学力経年調査児童質問紙「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合は76.9%で、大阪市平均の82.0%より下回る結果であり、本校の課題が浮き彫りとなった。
 - 令和7年度小学校学力経年調査(算数科・国語科)では、3～5年生は国語科・算数科ともに全国対比1.00を上回る結果(3年国:1.10 算:1.08、4年算:1.01、5年国:1.01 算:1.02)であった。一方、4年生国語科及び6年生国語科・算数科は全国対比より下回る結果(4年国:0.96、6年国0.90 算:0.91)であった。
 - 令和7年度小学校学力経年調査児童質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合は74.0%であり、大阪市平均の69.2%を上回っている。
 - 令和7年度小学校学力経年調査児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は40.2%で、大阪市平均の38.4%より上回っている。
 - 学習者用端末の活用率では、令和7年度に「授業日において児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする」という目標に対して、49.6%(大阪市平均49.8%)であった。ほぼ計画通り本校のICT化は進んでいるが、今後ますますの充実が必要である。
 - 令和7年度より主幹学校司書が配置され、読書環境のさらなる充実を図ってきた。その結果、令和7年度小学校学力経年調査児童質問紙「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合は70.8%となり、大阪市平均70.4%をやや上回った。今後も引き続き読書環境の充実を図る必要がある。
- 安全安心な教育の推進のために、いじめ対応の徹底・不登校への対応に重点を置き、キャリア教育や人権を尊重する教育の推進を図り、豊かな心を育成する。また、未来を切り開く学力・体力の推進のためには、今後も引き続き若手教員の指導力をより一層高めるための取り組みが急務である。また、学びを支える教育環境の充実においては、教育DXや働き方改革の計画的な推進が必要である。そして、主体的で対話的で深い学びを効果的に進めるための基盤として学校図書館の充実にも重点を置く必要がある。

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.0%以上にする。(R7:84.5%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.0%以上にする。(R7:76.9%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、いずれの学年も1.05ポイント以上にする。R7 4年国 1.1→1.03 5年国 0.96→0.99 6年国 1.01→1.01
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7:91.3%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上使用する児童の割合を80%以上にする。(R7:—)
- 時間外勤務時間について、月60時間以上実施する教員をゼロにする。R7:0%
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。R7:70.8%

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.6%以上にする。(R7:84.5%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7:76.9%)

【取組の指標】

- 「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を95%以上にする。R7:— R11:100%
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。R7:1.36(8名)
- 大阪市学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。R7:— R11:90%
- 大阪市学力経年調査における「自分の大切さとともにほかの人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。R7:— R11:90%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。R7 4年国 1.1→1.03 5年国 0.96→0.99 6年国 1.01→1.01
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7:91.3%)

【取組の指標】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79.3%以上にする。R7:79.2%→R11:85.0%
- 小学校学力経年調査における「国語の内容はよくわかりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.0%以上にする。R7:86.9%
- 体力向上に関する校内研修会・講習会を年2回以上実施する。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上使用する児童の割合を60%以上にする。(R7:—)
- 時間外勤務時間について、月60時間以上実施する教員をゼロにする。R7:0%
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。R7:70.8%

【取組の指標】

- 学期に3回以上教育DX推進に関する研修会を実施する。
- 本校の毎月の時間外平均時間を29時間以内にする。(R7:21H R11:20H)
- 「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を35%以上にする。(R7:— R11:50%)

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】
【未来を切り拓く学力・体力の向上】
【学びを支える教育環境の充実】

(様式例 2)

大阪市立放出小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84.6%以上にする。(R7:84.5% →R11:87%) ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(R7:76.9% →R11:88%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容 1－① 【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 施策 1－1 いじめへの対応 ～いじめ対応に関する取組内容～ ・「大阪市いじめ対策基本方針」の理解・実践に関する研修の実施 ・「いじめについて考える日」「いのちについて考える日」や「いじめアンケート」の実施によるいじめの未然防止、早期発見の取組の徹底 ----- 指標 「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を 95%以上にする。 R7 : — R11:100%	
取組内容② 【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 施策 1－2 不登校への対応 ～不登校に関する取組内容～ ・「登校支援ルーム」の充実を図り、児童が安心して学校へ来れる環境を整える。 ----- 指標 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 R7 : 1.36 (8 名)	
取組内容③ 【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 施策 2－2 キャリア教育の推進 ～キャリア教育に関する取組内容～ ・出前授業や体験的な活動を通して自分らしい生き方の実現に向けた力を育成する。 ----- 指標 大阪市学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 R7 : — R11 : 90% 類似項目「将来の夢や目標はありますか」 R7 : 84.3%	
取組内容 【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 施策 2－3 人権を尊重する教育の推進 (多文化共生含む) ～人権教育に関する取組内容～ ・人権に関する教科横断型の授業を実践する。	

・「多文化共生週間」を設定し、各学年で「多文化共生」をテーマにした実践を行う。	
指標 大阪市学力経年調査における「自分の大切さとともにほかの人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。R7：－ R11：90%	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例 2)

大阪市立放出小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り開く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。 R7 4 年国 1.1→1.03 5 年国 0.96→0.99 6 年国 1.01→1.01 ○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (R7:91.3% → 市 R11:90.0%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容 2-① 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 施策 4-2 主体的・対話的で深い学びの推進 (各学校の実態に応じた個別の支援の充実) ～取組内容を記述～ 各学年で研究授業を実施し全体で検討・討議したり、外部講師を招聘し助言や研修を受けたりして、指導力の向上に推進する。 指標 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 79.3%以上にする。 R7:79.2%→R11:85.0%	
取組内容 2-② 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 学校独自※大阪市教育局教育振興基本計画に例示なし ～取組内容を記述～ 国語科と算数科の基礎・基本的な学力の向上のため、思考力や読解、ことばの習熟プリントを活用しながらぐんぐんタイムに取り組む。 指標 小学校学力経年調査における「国語の内容はよくわかりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87.0%以上にする。 R7:86.9%	
取組内容 2-③ 【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 施策 5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進 ～取組内容を記述～ ○児童が運動やスポーツに親しめるように、指導者の指導力向上のための研修会を学期に 1 回行う。 指標 体力向上に関する校内研修会・講習会を年 2 回以上実施する。	

取組内容④【基本的な方向番号、名称】	
指標	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例 2)

大阪市立放出小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上使用する児童の割合を60%以上にする。(R7: — R11: 80%) ○時間外勤務時間について、月 60 時間以上実施する教員をゼロにする。R7: 0 % ○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 71%以上にする。R7: 70.8% R11: 75.0%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容 3-① 【基本的な方向 6、教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 施策 6-1 ICT を活用した教育の推進 ・デジタル教材を活用した自主学習や家庭学習を定着させる。 ・デジタルリテラシー教育や ICT を活用した授業スタイルを推進するため、教員のデジタルスキルを向上させる。	
指標 (仮) 年 3 回以上教育 DX 推進に関する研修会を実施する。	
取組内容 3-② 【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 施策 7-1 働き方改革の推進 ・ゆとりの日 (ノー会議デイ・ノー残業デイ) を週に 1 回設定し、実施する。 ・校務分掌部会等の定例会では、終了後に議事録を SKIP 掲示板に掲載し、情報共有のための時間短縮と周知の徹底を図る。	
指標 (仮) 本校の毎月の時間外勤務平均時間を 29 時間以内にする。 (R7: 21H R11: 20H)	
取組内容 3-③ 【基本的な方向 8、生涯学習の支援】 施策 8-3 学校図書館の活性化 ・市立図書館による団体貸し出しを積極的に利用し、学習への支援等を実施する。 ・児童の興味関心・知的好奇心に対応する蔵書を充実させるための、ニーズを把握する。	
指標 (仮) 「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 35%以上にする。 (R7: — R11: 50%)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点